

【議事概要】第 29 回浜田市行財政改革推進委員会

日 時：平成 26 年 7 月 11 日（金）13：30～

場 所：浜田市役所 5 階 全員協議会室

出席者

【委員】大橋敏博委員、光延忠彦委員、岩谷百合雄委員、~~藤田教造委員~~、~~来原明宏委員~~、竹下純弘委員、大谷克雄委員、鎌原ヤシエ委員、馬場真由美委員、細川良一委員、塚本守委員、芳川榮佑委員、熊谷富雄委員、加藤喜六委員、佐々木富士子委員、三浦健一委員、森田博美委員

【市】副市長、~~教育長~~、総務部長、地域政策部長、財務部長、健康福祉部長、市民生活部長、産業経済部長、都市建設部長、議会事務局長、教育部長、消防長、上下水道部長、広域行政組合事務局長、金城支所長、~~旭支所長~~、弥栄支所長、三隅支所長、~~市長公室長~~、財務部次長、~~人事課長~~、総務部次長

1. 協議事項

(1) 浜田市行財政改革実施計画 平成 25 年度報告・平成 26 年度計画について

- ・ 標題議事について、資料を用いて事務局より概要を説明の上、委員からの意見、質疑を受けた。
- ・ 委員意見、質疑の詳細については、別紙のとおり。

2. その他

- ・ 委員意見を踏まえて今後の運営方法等を検討する。
- ・ 今回の審議内容は市HPでも公表する。

委員意見等(要点筆記)

委員意見及び浜田市回答

「112 市民、地域との連携強化」

☆ 職員担当制についてどれくらい進んでいるか。

⇒やり方は違うが、旭、弥栄、三隅の3自治区で実施している。

浜田、金城自治区については、職員担当制ということではなく、地域の一住民として関わっていく形で、地域との連携、調整役を担っていきたいと考えている。

☆ 地区まちづくり委員会のステップアップには、市の担当者がリーダー的な立場に立って指導してもらうことが必要と思う。

⇒先導的なサポートについては検討していきたい。

☆ 地区まちづくり推進委員会の設立が浜田自治区において非常に遅れているが、意図的に働きかけるような施策が必要。

⇒世帯数に応じて設立単位を小学校区にしたり、地縁関係の薄いところでは、防災組織や商店街などを中心に設立を促したりなどいろいろな切り口から推進していきたい。

「131 学校給食施設の統合」

☆ 学校統合も進み、配食エリアも変化している。こういう時期を見計らって、給食のあり方について検討をお願いしたい。

⇒今年度策定する公共施設再配置計画の中で、市全体の公共施設のあり方を含め、給食センターの数や設置場所などを含め、改めて検討していくこととしている。

「414 資料館の運営方法見直し」

☆ 後世へ残す資料や遺跡の保存、資料館の存続などの予算や人員配置について要望する。

⇒ (回答なし)

委員意見及び浜田市回答

「511 中期財政計画に基づく事業実施」

☆ 毎年中期財政計画は変更されるというのはどういうことか。

⇒人口減少に伴う税収や交付税の減少など、最新の情報を交えて算出した計画を毎年算出し、説明している。

☆ 合併時に約束された事業計画が担保されていないのではないか。

⇒非常に厳しい状況の中、当初約束したまちづくり計画は平成 28 年度までの自治区枠として可能な限り推し進めていく。

☆ 中期財政計画を変更してまで、元気な浜田枠を進めることに非常に疑問を感じる。

⇒元気な浜田枠で一部遅れた事業はあるが、平成 28 年度に戻す計画としている。

「521 自治体健全化法への対応」

☆ 平成 25 年度分が算定中となっているが、いつ算定されるのか。

⇒現在算定中である。9 月議会には中間報告を報告させてもらう。

「623 経営の抜本的な見直し (株)かなぎ」

☆ 3年で6,000万円の債務負担行為となっているが、3年後はどうするのか。

⇒指定管理期間は平成 27 年度までとなっているので、次期更新時期が到来した際検討することになる。

☆ (株)かなぎ が解散後、市の負担は無くなるのではないのか。

⇒指定管理料として支出している。